

東ティモール太陽光発電事業（PF融資）



東ティモール初の太陽光・蓄電池IPP事業で持続可能な電力供給に貢献

事業概要

太陽光発電所（73.7MWac）及び蓄電池（80.2MWh）を含む関連設備の建設・運営を通じ、化石燃料依存からの脱却を図り、もって同国の温室効果ガス排出削減に寄与するもの。

本事業のポイント

1. 東ティモール初の太陽光・蓄電池IPP事業

東ティモールでは発電量の約99.8%をディーゼル発電に依存しており、燃料価格や輸送コストの変動の影響を受けやすいことが課題となっている。本事業は、東ティモール初のIPPによる太陽光発電・蓄電池事業として実施されるものであり、同国の電源構成の多様化及び再生可能エネルギー導入の拡大に貢献する。また、本事業による発電量は国内電力需要の約3割を賄うことが見込まれており、東ティモールの電力セクターの持続的発展を支える案件である。

2. 東ティモールと日本の連携強化

本事業では伊藤忠商事グループがスポンサーとして参画しており、JICAは日本企業と連携して本事業を支援することで、東ティモールの持続可能な発展に貢献するとともに、両国間の経済協力及びパートナーシップの強化を図る。

3. 技術協力との連携（法整備支援を通じた投資環境改善）

JICAが技術協力にて支援してきた法制度整備の成果の一つとして、2025年に「国家所有不動産の管理及び利用に関する法」が制定され、本事業も同法に基づき実施されるものであり、投資環境改善により民間投資の更なる促進にもつながることが期待される。

